

『家庭学習調査 2022』を実施 新しい生活様式での変化や教育ICTスキルの習得機会や期待、 自学自習による効果と子どもの未来への希望は？

公文教育研究会（代表取締役社長 池上秀徳 [いけがみ ひでのり]）は、2022 年 12 月、小学校 1～3 年生のお子さまがいる世帯の母親 1,000 人、父親 800 人を対象に、「家庭学習についての調査」を実施しました。この調査は、子どもの生活・家庭学習の状況や保護者の意識・行動の把握を目的として、2015 年から継続して行っているものです。

【調査概要】 調査方法：インターネット調査

調査対象：小 1～小 3 の子がいる世帯の母親 1,000 人、父親 800 人

調査期間：2022 年 12 月 13 日～12 月 15 日

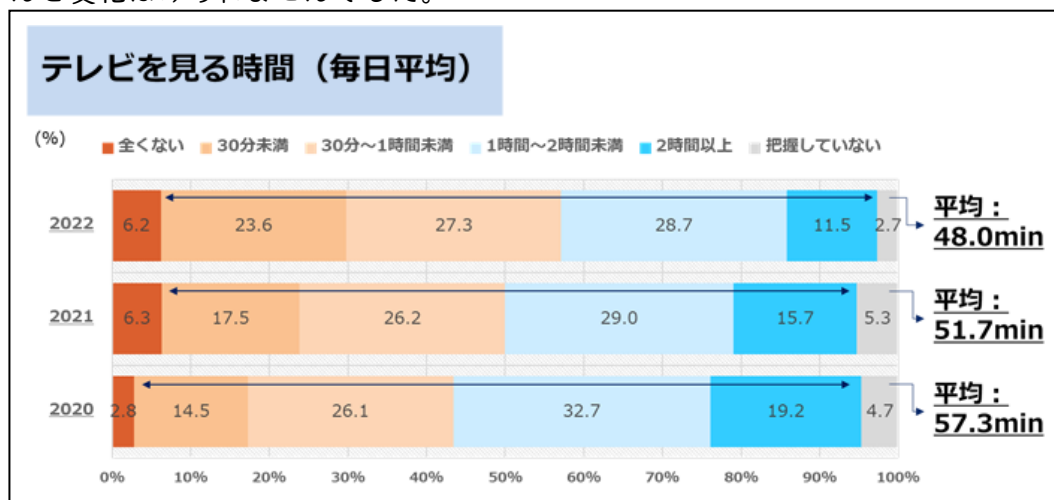
【データから見えた10のトピックス】

- ① テレビを見る、外（公園や広場など）で遊ぶ、友達の家で過ごす時間は減少
- ② 子どもの動画配信視聴は、時間・機会ともにますます増えている
- ③ 子どもが家で学習するのは、週平均「5.7 日」、1 日の学習時間は「31.8 分」
- ④ 子どもについて最も気にかかっていることは「子どもの友達関係」で 35%
- ⑤ 子どもの情報機器スキルの習得機会は「学校の指導」が 53.5%で最多。自力習得も 4 割を超える
- ⑥ 情報機器を子どもより使い慣れている親は 55.2%
- ⑦ 教育 ICT に期待しない親は 14.2%と更に減少
- ⑧ 子どもの学習に関し、ほめることを大切にしている親が増えている
- ⑨ 子どもが家庭学習に熱心に取り組むようになるきっかけは「自力で課題を解ける」こと
- ⑩ 子どもの未来に希望を持てる親は 63.6%

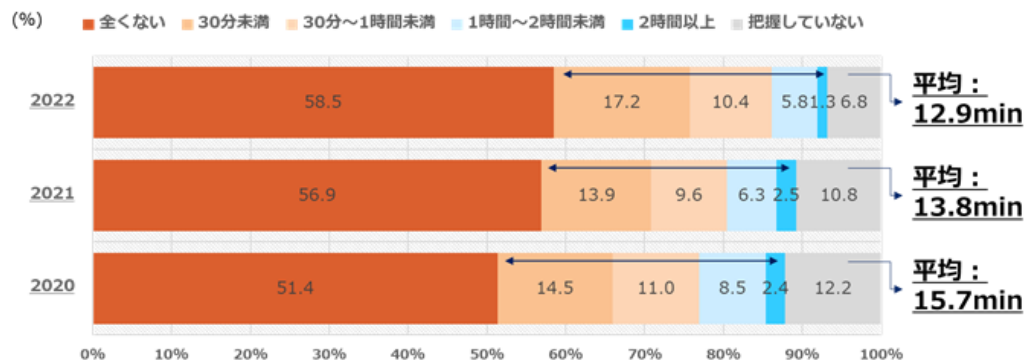
子どもの家庭で過ごす時間の変化

① テレビを見る、外（公園や広場など）で遊ぶ、友だちの家で過ごす時間は減少

子どもの家での過ごし方を聞いたところ、1 日の平均時間で「テレビを見る時間」は 48 分、「友だちの家で過ごす時間」は 12.9 分、「外（公園や広場など）で遊ぶ時間」は 26.4 分という結果となりました。直近の調査結果と比べると、減少しています。「ゲームをする時間」は 35.7 分となり、ほとんど変化はみられませんでした。



友だちの家で過ごす時間（毎日平均）



外（公園や広場など）で遊ぶ時間（毎日平均）

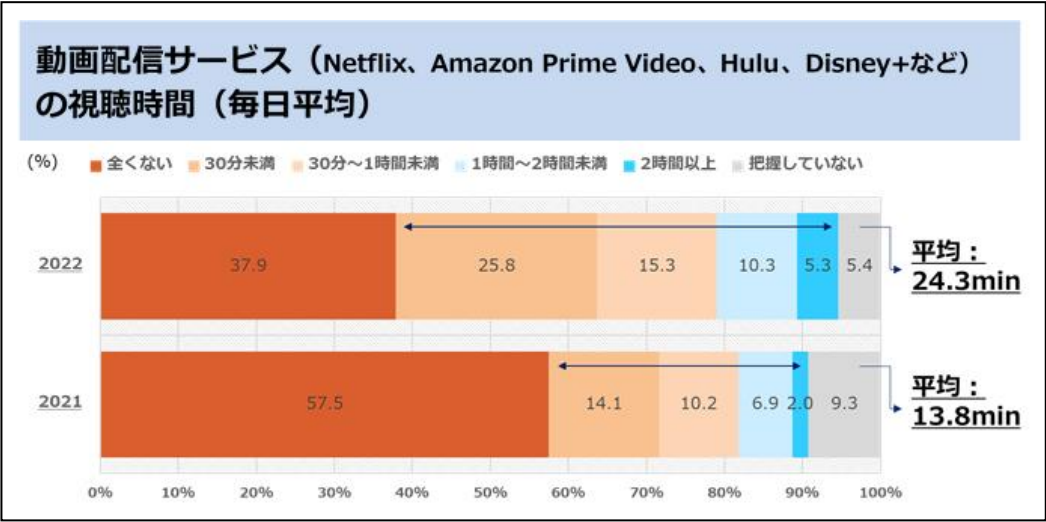


ゲームをする時間（毎日平均）



② 子どもの動画配信視聴は、時間・機会ともにますます増えている

「動画配信サービス（Netflix、Amazon Prime Video、Hulu、Disney+など）の視聴時間」を聞いたところ、1日の平均時間は24.3分となりました。昨年度の調査結果（「全くない」57.5%、「2時間以上」2.0%）から「全くない」という回答が37.9%と減少するとともに、「2時間以上」の回答が5.3%と増加するなど、子どもが動画配信サービスを視聴する時間・機会ともに、ますます増えていることがわかりました。



③ 子どもが家で学習するのは、週平均「5.7日」、1日の学習時間は「31.8分」

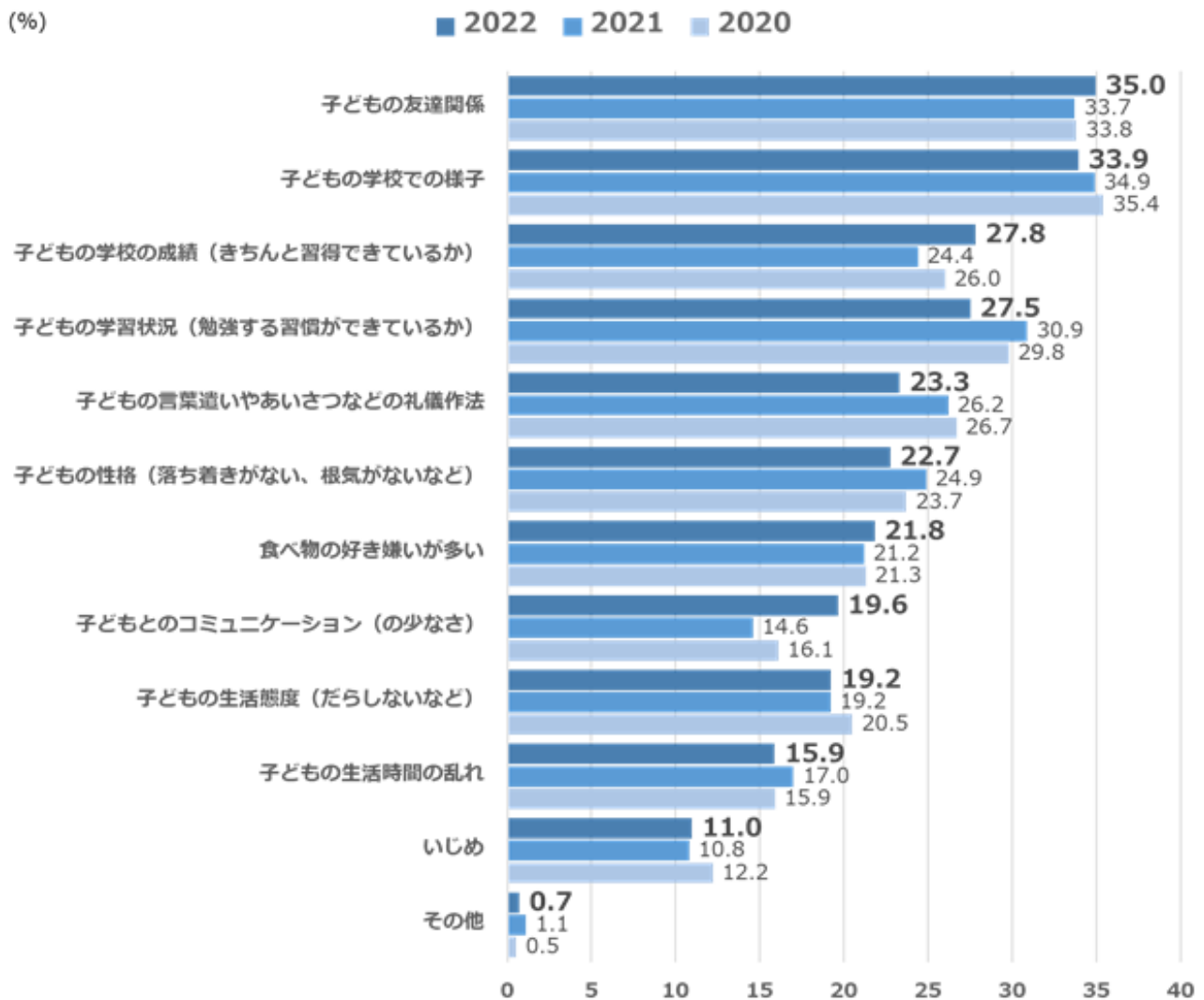
今回の調査では、小1～小3の子ども家庭学習の頻度は、週平均「5.7日」、1日の平均学習時間は「31.8分」という結果となりました。昨年度の調査結果（週平均「5.7日」、平均学習時間「34.9分」）より、週平均学習時間が減少しています。

家庭学習の週平均学習日数（日）		家庭学習の週平均学習時間（分）	
2022年	5.7	2022年	31.8
2021年	5.7	2021年	34.9
2020年	5.8	2020年	36.3
2019年	5.9	2019年	37.1
2018年	5.8	2018年	36.3

④ 子どもについて最も気にかかっていることは「子どもの友達関係」で35%

今回の調査でも、子どもについて気にかかっていることを聞きました。「子どもの友達関係」が35%、「子どもの学校での様子」が33.9%、「子どもの学校の成績（きちんと習得できているか）」が27.8%と上位3項目になりました。

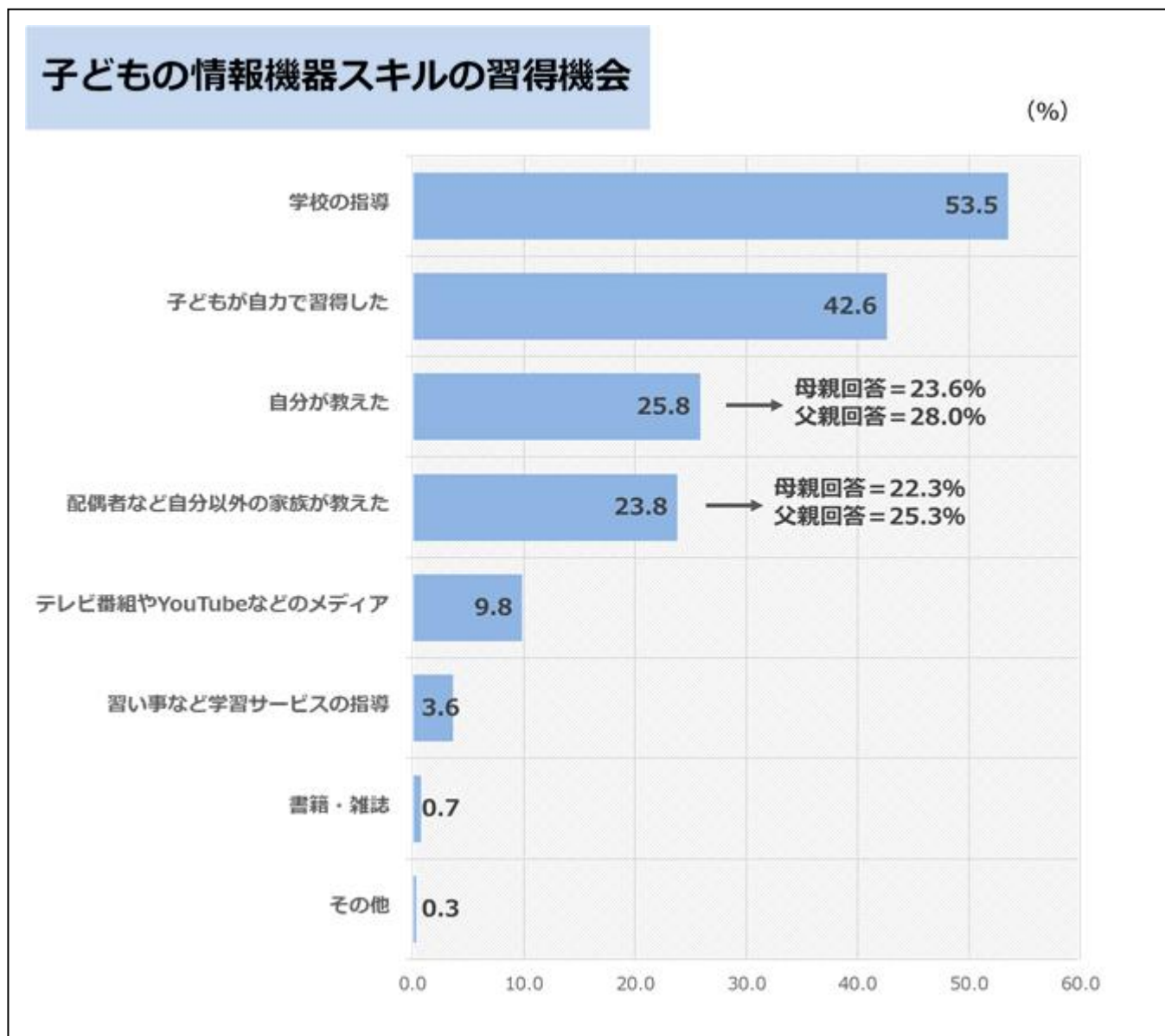
子どもについて気にかかっていること



教育 ICT スキルと期待

⑤ 子どもの情報機器スキルの習得機会は「学校の指導」が 53.5%で最多。自力習得も 4 割を超える

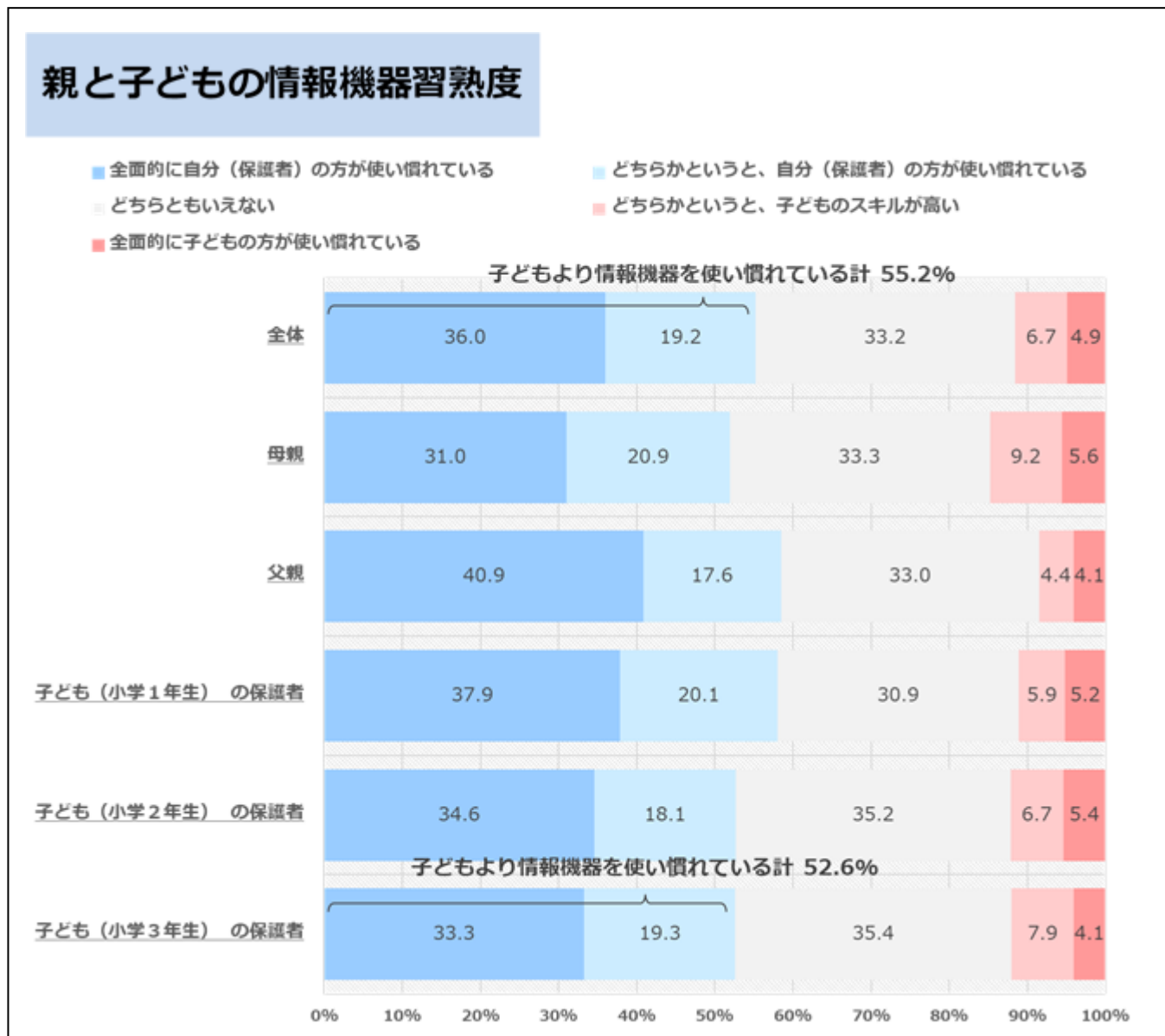
今回、お子さまが情報機器スキルをどのように習得したかを聞きました。「学校の指導」という回答が 53.5%と最も多く、次に「子どもが自力で習得した」が 42.6%と続きます。両親が教えたという回答も 20%を超える結果となりました。



⑥ 情報機器を子どもより使い慣れている親は 55.2%

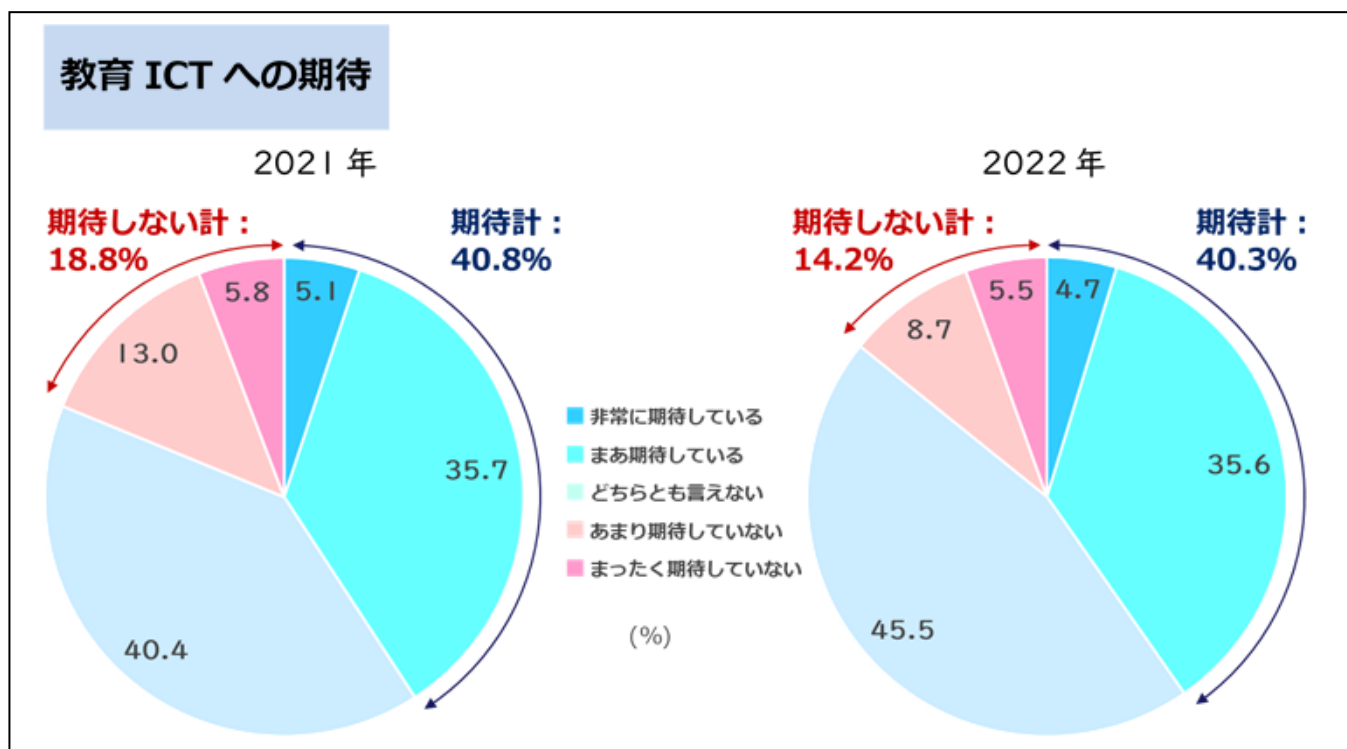
今回、親と子どもが情報機器を使い慣れているかについて聞いたところ、親全体で「子どもより情報機器を使い慣れている」との回答は 55.2%、母親は 51.9%、父親は 58.5%となっています。

子どもの学年が上がると、「全体的に自分（保護者）の方が使い慣れている」「どちらかというと、自分（保護者）の方が使い慣れている」割合は減少しています。



⑦ 教育 ICT に期待しない親は 14.2%と更に減少

教育 ICT への期待を聞いたところ、「非常に期待している」と「まあ期待している」の回答が 40.3%となり、昨年度の調査結果（40.8%）とほとんど変化はみられませんでした。「まったく期待していない」と「あまり期待していない」の回答は 14.2%で昨年の調査結果（18.8%）より減少しています。



自学自習による効果と子どもの未来への希望

⑧ 子どもの学習に関し、ほめることを大切にしている親が増えている

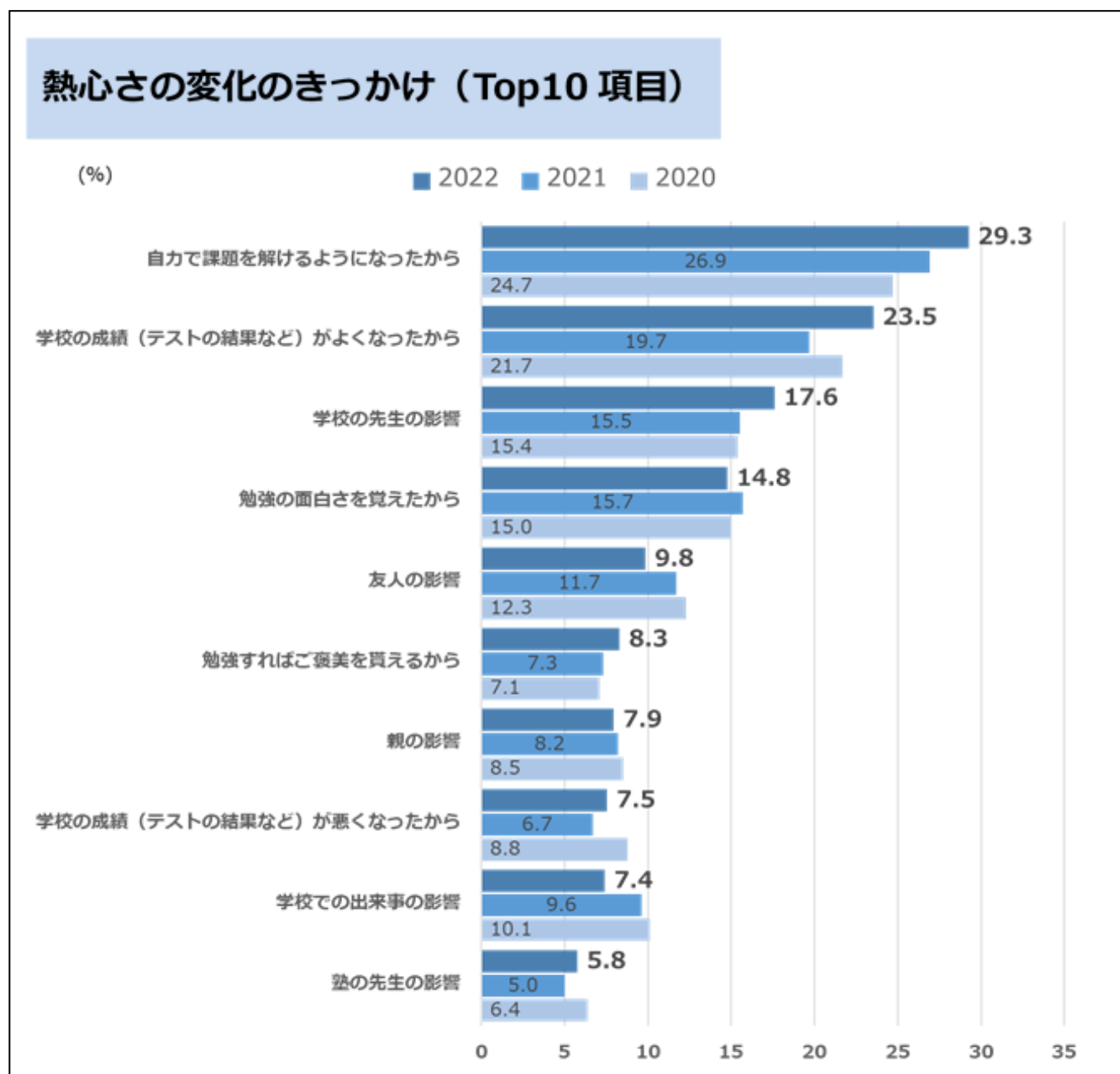
お子さまの学習を見る際に実際行ったことを聞いたところ、「わが子の得意・不得意を把握している」が65.2%と最も多く、次に「家庭学習をする場所は親の目が届く場所にしている」が61.8%、「子どもから質問を受けた時はすぐに見るようにしている」が60.8%と続きます。

過去2年の増加で見てみると、「怒るよりもほめることを大切にしている」の回答が48.0%から51.4%となっています。



⑨ 子どもが家庭学習に熱心に取り組むようになるきっかけは「自力で課題を解ける」こと

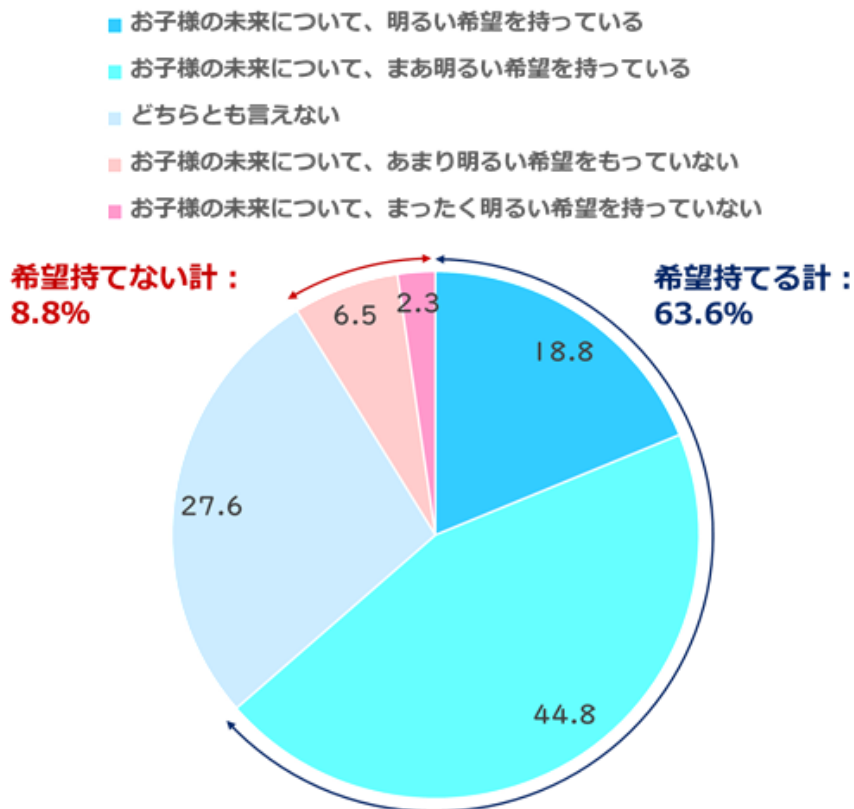
今回の調査でも、家庭学習において子どもの熱心さが変化・向上するきっかけとなっていることを聞きました。最も多かった回答は「自力で課題を解けるようになったから」が29.3%となり、自学自習によるモチベーション向上効果は更に増大しています。次に「学校の成績（テストの結果など）がよくなったから」が23.5%、「学校の先生の影響」17.6%と続きます。



⑩ 子どもの未来へ希望を持てる親は 63.6%

お子さまの未来への希望について聞きました。「明るい希望を持っている」と「まあ明るい希望を持っている」の回答が63.6%、「あまり明るい希望はもっていない」と「まったく明るい希望を持っていない」の回答が8.8%でした。

子どもの未来への希望感



本内容は、弊社広報メディア『KUMON now!』にて3回にわたり連載します。

<https://www.kumon.ne.jp/kumonnow/topics/vol475/>

【リリース内容・取材に関するお問い合わせ先】

公文教育研究会 社長室 広報チーム

〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-18 京急第1ビル 12F

Email: koho@kumon.co.jp

TEL: 03-6836-0030

※過去のプレスリリースはこちらから

<https://www.kumon.ne.jp/press/>